

相談支援係
072-941-3365

情報チーム
072-943-5785

研究研修係
072-943-5784

教育センター
Web pageは
こちらから



令和3・4年度 幼児教育研究—2年次 研究発表会—



令和5年2月8日（水）午前9時30分～午後2時30分に令和3・4年度 幼児教育研究—2年次 研究発表会—を東山わかばこども園で行いました。研究テーマは「未来につなぐ！わかばのポケット～夢があふれるこども園～」です。午前は1時間30分公開保育（0～5歳児）を各保育室・園庭・乳児園庭で行った後、「肯定的な見取りから一人ひとりが安心して遊ぶ環境づくりとは」を討議の柱に意見交流を行いました。午後からは園からの研究発表がありました。その後、瀧川光治教授（大阪総合保育大学）から指導講評とご講演をしていただきました。



肯定的な見取りのアプローチとして、3つの視点を一貫して活用し、理解を深めることで保育者一人ひとりの力につながったと感じたとの講評がありました。

また、講演のテーマは「今、保育に求められること」でした。



＜受講者感想＞

- ・公開保育では、先生方の子どもへの声かけやまなざしが同じ方向性で園として推進されていることや子どもたちの生き生きとしたキラキラ輝いている姿が印象的でした。
- ・子どものできないことや難しいことをどうすればよいか悩むことも多々ありますが、まずは肯定的にみることを思い出し、どう援助していくかをまた見つめ直していきたいです。
- ・保育の中で、真似したい環境がたくさんあり、明日仕事に行くのが少し楽しみになりました。
- ・見えている部分だけではなく、見えない部分（内面）から考えていくことの大切さを実感しました。
- ・子どものトキメキを生み出す環境構成とヒラメキを引き出す保育者の支援があるからこそ、子どもの遊びの質が高いのだと実感しました。



小学校一斉見学会



令和5年2月15日（水）午前中に市内全27の小学校と高安小中学校で、小学校一斉見学会を行いました。令和5年4月に各校に入学予定の子どもたちとその保護者へ向けて小学校の様子をお伝えすることを目的に実施しました。教室での授業の様子や体育館でのレクリエーションなどを見学して、小学校入学へ向けたイメージを膨らませてもらうことが出来ました。コロナ禍で感染症拡大防止のため集合型での実施は3年ぶりの開催となりました。

在校生からは、「元気に入学してきて、一緒に勉強しようね」（現1年生）といった言葉や、見学に来た保護者からは「へー！1年でもうパソコン使ってるねんや」などの声が聞かれました。

初任者研修⑱・「閉講式」

令和5年2月16日（木）午後3時～午後5時に初任者研修⑱・「閉講式」を本センターで行いました。研修は本センター川村泰司指導主事をファシリテーターとし、1年間の振り返りとこれからの目標等について班別討議・全体交流を行いました。研修の最後に本センター澤田玲子指導員より「期待すること」と題して講話を行いました。研修後に閉講式として本センター打抜真由美所長より「2年目を迎えるにあたって」と題した講話を行いました。いずれの講話も自身の経験に基づき悩みながら成長していったことや、何事も一人で抱え込まず周囲に相談していくように等の温かいメッセージが送られました。



<受講者感想>

- ・食育の授業は全クラスではできなかった。しかし担任の先生方とたくさん話をすることが出来たので、学級活動や総合的な学習の時間などから、少しずつ学級に入っていきたいと思う。
(栄養教諭)
- ・メモを見返したり、手引きなどの内容をより理解したりして確実な事務を遂行したい。先生方や生徒の皆さんとコミュニケーションをとり、求められていることを把握して積極的に行動に移していきたい。
(事務職員)
- ・今年1年間でひとの意見を素直に聞けるようになった。初めの頃はコミュニケーションをとることが苦手で、一人で抱え込んでしまった。何を相談すればよいのか、どこから報告すべきことなのかもわからなかった。しかし、少しずつコミュニケーションの必要性を実感し、周りの先輩教員に話すことができるようになった。私も、後輩ができたなら頼られる先輩になれるよう頑張っていきたい。また、毎日休み時間に子どもたちと一緒に遊んで、楽しく笑って過ごせる教師になりたい。
(小学校教諭)
- ・大畑山での飯盒炊さんをした時や心合寺山古墳・愛宕塚を散策した時など、同期と歩きながら話した思い出が励みになっている。校内では先輩教員と積極的にコミュニケーションを取ること、わからないことは何でも聞き、助けてもらえるようになった。生徒にとって何が一番いいのかを考えると、素直に頼れるようになった。
(中学校教諭)

内容別特別支援教育研修 A (視覚障がいに関する内容)



令和5年2月27日(月)午後3時30分~午後5時に内容別特別支援教育研修 A (視覚障がいに関する内容)を本センターで行いました。講師は村江鉄平指導教諭(大阪府立大阪南視覚支援学校)で研修テーマは「視覚障がいのある子どもの理解及び指導の実際」です。

様々な視覚障がいの特徴を知り、安全安心の環境づくり、授業における指導方法についても様々な工夫を紹介していただきました。

<受講者感想>

- ・手を伸ばしての活動に躊躇する場面では、安心できる環境であることを、言葉や触ることでしっかり伝えたい。
- ・視覚障がいのある児童について、どのような支援が必要なのか、どのようは準備が大切なのか具体的に理解が深まった。
- ・ものの見え方というのは人によって違いがあり、必要に応じて個別のアセスメントを行っていくことの大切さを再確認できた。

「さわやかルーム」退室式



令和5年3月3日(金)午後1時から本センターの「さわやかルーム」退室式を行いました。この春、退室していく生徒を所長他スタッフで見送りました。打抜真由美所長からは、はなむけの言葉、在室生徒からは思い出と感謝を綴った送辞、退室する生徒からは本センターでの思い出とともに退室後の進路に向けた力強い決意が答辞として表明されました。

ICT 支援員定例会議



令和5年3月1日（水）に本センターで ICT 支援員の定例会議を行いました。今回は午後 2 時から 1 時間程度浦上弘明教育長も参加し、プログラミング教育を学校教育に取り入れていくためにはどのような方法が有効か意見交流を行いました。教育長も参加する中、集まった 11 人の ICT 支援員の経歴・年齢も様々で、多様な意見が出され活発な論議が行われました。
※ICT 支援員 ICT 支援員は学校教育における ICT 活用の支援を行っており、八尾市では委託先の従業員が市内の学校に配置されています。

研究協力員情報教育部会



令和5年2月27日（月）と3月1日（水）の午後4時30分～午後5時に本センターで研究協力員情報教育部会を行いました。ここではバーチャル空間上のロボットを動かして学ぶ、ロボットプログラミング学習サービスを体験し八尾市内の学校のプログラミング教育に活かす方法を検討しました。

教育センター「情報公開コーナー」

教育センターB棟（東側）の2階に「情報公開コーナー」があります。各種教育関係図書・雑誌等を配架しています。もちろん「教科書センター」として八尾市で採択している教科書や他社の教科書もあります。研修等で来所された時に直接ご覧いただければ幸いです。教科書・その他書籍・雑誌等も2週間の貸し出しを行っております。今回は2月から3月に配架した雑誌の誌名と目次の一部を紹介いたします。

「指導と評価」（日本教育評価研究会）3月号

- ・特集1 「特別の教科 道徳」の現状と課題
- ・特集2 『生徒指導提要』の改訂



指導と評価 46ページ カリキュラムマネジメント10 中学校社会科(4)

魂の伝承～生き方・志を問う教育への転回～ を読んで

この雑誌を手にしたのは、特集1に「特別の教科 道徳」の現状と課題 という見出しを見たからです。道徳が教科化されて、小学校で5年目、中学校で4年目です。道徳の教科化は平成25年の教育再生実行会議の第1次提言に「道徳の教科化」が盛り込まれたことに始まります。あらためて道徳教育の現状について考えてみようと思ったわけです。特集を読んだ後、たまたま「連載コーナー」を読んでこの記事に出くわしました。川崎市の社会科の先生の文章です。実は社会科はその誕生に遡ると道徳とは深い関係にあります。しかし、その後の変遷の中で社会科は世間から「暗記教科」などと言われ、考えるというところからは遠いところにあるように思われてきました。最近になって「考える社会科」が重視されてきました。筆者の町田憲二先生は、独自に「教育曼荼羅」という階層的概念で「考える社会科」を実践されています。第一階層は論理・言語レベル、第二階層は授業レベル、第三階層は単元レベル、第四階層は教育課程レベル、第五階層は倫理哲学レベルです。階層はミクロからマクロに拡大していきます。新入生はJK(情報活用)を駆使してLA(論理的文章記述法)を実践する中でKK(感じ、考えたこと)を育てていきます。そして先人のノートを読んだり教室で意見を交わしたりする中でTKK(他人の感じたこと、考えたこと)、さらにはSKK(さらに感じたこと、考えたこと)へと至ります。これは「対話的で深い学び」につながります。また、学習過程でDP(立ち位置の意思決定)を用いた討論をすれば「多面的・多角的」に考えを広げることができ、まさに道徳的な思考のプロセスです。複雑そうに見えますが理論は単純明快です。

ちなみに、back number「中学社会科(1～3)」は本センターにあります。

(葭仲)

「道徳教育」(明治図書)3月号

・総おさらい 道徳授業 実践史

道徳価値葛藤論、道徳的価値の一般化、総合単元的な道徳学習、構造化方式
総合的道徳教育、価値の明確化・・・

「こころの科学」(日本評論社)228号 2023.3

・特別企画 こころの病気とスティグマ

「こころの科学」(日本評論社) special issue 2023

・受ける? 受けない? 精神科セカンドオピニオン

「月刊学校教育相談」(ほんの森出版)3月号

・特集1 一年間の「ありがとう」をどう伝えるか

・特集2 卒業式・修了式から4月1日までにやっておきたいこと

「特別支援教育研究」(全日本特別支援教育連盟編集、東洋館出版社)3月号

・特集 多様なニーズにこたえるユニバーサルデザインの視点

「初等教育資料」(文部科学省編集、(株)東洋館出版社発行)3月号

・特集I 子供の学びを支える環境の充実

・特集II [道徳]学習指導要領における指導のポイント

問題意識をもち、自己の生き方を考える道徳科の授業

「中等教育資料」(文部科学省編集、学事出版)3月号



梅の花とメジロ

- ・特集 デジタル教科書を活用した授業づくり

教育科学「国語教育」（明治図書）3月号

- ・特集 ICTで実現する「個別最適な学び」と「協働的な学び」
第1特集 ICTで実現する国語授業の「個別最適な学び」「協働的な学び」
第2特集 伝統校に学ぶ！授業づくり 「子どもの自立を支える」授業づくり

教育科学「社会科教育」（明治図書）3月号

- ・特集 ICT×社会 日常使いにする場面別活用法

「新しい算数研究」（新算数教育研究会編集、東洋館出版社）3月号

- ・特集 令和の日本型算数教育とは 一次代の算数への提言一



桃の花と雛人形



水仙の花